

火山調査委員会の活動状況

令和 6 年 8 月 9 日
火山調査研究推進本部
火山調査委員会

火山調査委員会（委員長：清水洋 国立研究開発法人防災科学技術研究所火山研究推進センター長／国立大学法人九州大学名誉教授）の活動状況は以下のとおり。

1. 火山調査委員会の活動状況

4月23日に第1回、7月17日に第2回の委員会を開催し、火山調査研究推進本部火山調査委員会運営要領を決定するとともに、本委員会の当面の活動、本委員会における総合的な評価の内容について審議した（表1）。定例開催（年2回程度）及び臨時開催における火山活動の現状の評価は、当面以下とすることを決定した。

- ・定例開催においては、111の活火山について現状の評価を実施し、当面は、噴火中や火山活動に変化が見られる火山を優先して、重点的に現状の評価を行う。
- ・令和6年度は、秋頃の定例開催時に全国111の活火山の現状の評価を審議して評価文を取りまとめ。

年明けの定例開催時に重点的に現状の評価を実施する火山について火山活動の状態をより詳細に分析して現状の評価を審議し、評価文及び調査研究方策を取りまとめる。

- ・臨時開催は、以下の場合に、火山調査委員会委員長が開催を判断する。
 - ① 顕著な火山災害が発生した又は発生が予想される場合
 - ② 調査研究上、重要な事象が発生した又は成果が得られた場合
 - ③ その他委員長が必要と認める場合

また、本委員会の下に機動調査観測部会を設置することを決定した。

2. 火山調査委員会機動調査観測部会の活動状況

火山調査委員会機動調査観測部会（部会長：森田裕一 国立研究開発法人防災科学技術研究所特別研究員／国立大学法人東京大学名誉教授）では、6月10日に第1回の部会を開催し、火山調査研究推進本部火山調査委員会機動調査観測部会運営要領を決定するとともに、機動的な調査観測の実施方針について審議した（表2）。

表 1 火山調査委員会の開催状況

開催年月日	回	議 題
令和 6 年 4 月 23 日	第 1 回	(1) 火山調査委員会の運営等について (2) 火山調査委員会の当面の活動について
7 月 17 日	第 2 回	(1) 火山調査委員会における総合的な評価の内容について

表 2 火山調査委員会機動調査観測部会の開催状況

開催年月日	回	議 題
令和 6 年 6 月 10 日	第 1 回	(1) 機動調査観測部会の運営等について (2) 機動的な調査観測の実施方針について

令和 6 年 8 月 9 日現在